

当面のスローガン

- 本年こそ「人権侵害救済法」を制定させよう!
- まちづくり運動を起点に広範なネットワーク化をはかろう!
- 続発する差別事件の糾弾を徹底しよう!

解放新聞 和歌山版

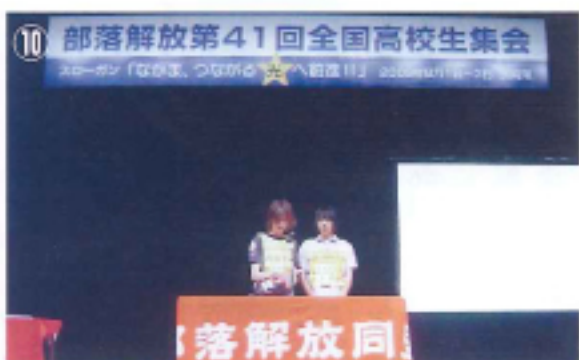
発行所
解放新聞和歌山支局

〒640-8314
和歌山市神前405-3
TEL 073-473-2301
FAX 073-473-2302

発行責任者
中澤敏浩

=2009年闘争日誌=

- ①第30回青年部定期大会 (5/31 同和企業センター)
- ②第33回女性部定期大会 (7/19 同和企業センター)
- ③事務局研修 (写真はチビチリガマ) (6/20~22 沖縄)
- ④09年度対和歌山県交渉 (9/28 市民会館)
- ⑤第40回高野山夏期講座 (8/19~21 高野山)
- ⑥第54期県連解放学校 (7/5プラザホープ)
- ⑦企業連第39回定期大会 (9/8 市民会館)
- ⑧第21回実行委員会総会 (9/16 ティーネット)
- ⑨ふれあい人権フェスタ09 (11/21~22 ビッグホール)
- ⑩第41回全国高校生集会 (8/1~3 長崎)
- ⑪09年差別事件報告集会 (12/9 プラザホープ)



新年明けましておめでとう
ございます。昨年、多くのみなさま方からのご支援、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。
さて、昨年8月30日におこなわれた衆議院選挙では、民主党の勝利によって憲政史上初めての政権交代が実現しました。さらに、部落解放同盟副委員長「松本龍」を組織内候補として闘い、7選を果たしました。全国の兄弟姉妹の支援をはじめ、共闘会議、実行委員会など多くのご支援をいただいたことに感謝申し上げます。また、和歌山県連は先の選挙において「岸本周平」「石田真敏」「階俊博」「西博義」候補をすい薦し、全員当選を果たすことができました。選挙闘争では、運動の前進と目的達成のため「政策協定」を結び、すい薦決定しました。今回の選挙結果を受けて、私たちが求める「人権侵害救済法」がすべての党・会派の賛同で早期に制定されることを期待しています。

本年は、参議院選挙がおこなわれます。組織内候補、中央本部書記長「松岡とおる」の必勝を期して全組織をあげてとりくみを進めなければなりません。
私たちが、「人権」「平和」「環境」を軸に不退転の決意であらゆる差別の撤廃と平和な社会を実現するため、まい進します。

事件を生まない社会を創るため、取り調べの「可視化」法案の制定が強く求められています。そして、私たちは一日も早く「石川無罪」を勝ち取るため、決意も新たに運動を展開します。



部落解放同盟和歌山県連合会
執行委員長 中澤敏浩

新しい年をむかえて

「○○は同和地区か？」などの露骨な問い合わせ事件が発生しました。このような悪質で陰湿、かつ差別者が特定できない事件が続発しています。
私たちが行政に求めるさまざまな要求は、部落差別解決のために必要な事業です。とくに生活に根ざした要求のもとに、本質に迫る闘いを構築しなければなりません。このように、昨年1年間を振り返ると、決意も新たにとりくまなければならぬ課題は山積しています。

本年は、参議院選挙がおこなわれます。組織内候補、中央本部書記長「松岡とおる」の必勝を期して全組織をあげてとりくみを進めなければなりません。
私たちが、「人権」「平和」「環境」を軸に不退転の決意であらゆる差別の撤廃と平和な社会を実現するため、まい進します。

事件を生まない社会を創るため、取り調べの「可視化」法案の制定が強く求められています。そして、私たちは一日も早く「石川無罪」を勝ち取るため、決意も新たに運動を展開します。